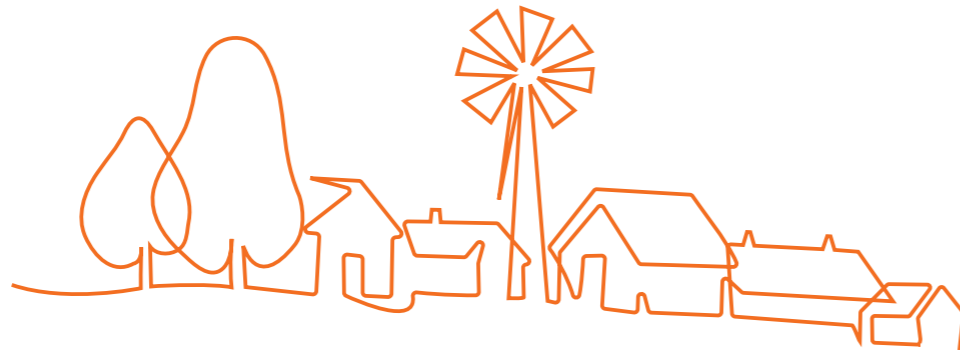


# 木の文化を 暮らしへ、 社会へ、 未来へ。



## 編集方針

「ウッドワン サステナビリティレポート」は、ウッドワン及び当社グループのサステナビリティに関する考え方や現況をお伝えすることを目的として発行する年次レポートです。E（環境）、S（社会）、G（ガバナンス）に関する取り組みの現況と成果を具体的にそしてわかりやすくご報告するとともに、さまざまなステークホルダーの方々とコミュニケーションを図ることを目指しています。

## 基本項目

- 対象範囲…株式会社ウッドワン及び当社グループ  
※環境関連データ、社会関連データ等一部範囲が異なります。
- 対象期間…2021年4月1日～2022年3月31日
- 参考にしたガイドライン：  
環境省「環境報告ガイドライン（2018年版）」、GRIスタンダード
- 次回発行予定…2023年9月頃を予定しています。

## 本レポートに関する問い合わせ先

〒738-8502 広島県廿日市市木材港南 1-1  
TEL:0829-32-3333 FAX:0829-32-6237  
株式会社ウッドワン 戦略統括本部 コーポレートコミュニケーション室

## 暮らしへ

木には、住まう人にやすらぎや気品を与えてくれる優れた魅力があります。ウッドワンがお届けしてきたものは、そのぬくもりや美しさを取り入れた豊かさにあふれる暮らしのかたちです。これからも木にこだわり、その性質を活かした安心・安全・高品質な商品による「ぬくもりのある、住まいづくり」をご提案し続けていきます。

## 社会へ

ウッドワンは株式を公開している企業として、収益を上げ、雇用を生み、企業を存続させることが第一の社会的責任と考えています。しかし、それだけではなく、木を活かしたものづくりに携わる企業として、自然環境に配慮し、地域に貢献し、私たちが暮らす社会との共生をかたちにしていきます。

## 未来へ

木は、地球にとって貴重な資源です。その限りある資源を育て、守り、有効に活用していくことは、木に携わる企業にとって大切な役割だと考えています。私たちが住まう美しい地球を未来へ残していくために、ウッドワンはこれからも環境保全と共生に取り組み続けていきます。

## CONTENTS

目次・編集方針	01	<b>重要課題 1</b> 森林資源の再生と活用	15	<b>重要課題 4</b> ワークライフバランス	27	<b>社会性報告</b>	
トップメッセージ	03	森林育成・保全を 地球環境の最重要 課題とした持続可 能な経営	16	挑み、成長できる 組織づくり	27	ステークホルダーエンゲージメント	37
<b>事業概要</b>		環境会計	17	<b>S:社会③</b> メンタルヘルスケア	28	人権・社会貢献活動	38
ウッドワンの主要な拠点・企業概要	07	ニューージーランド植林事業の環境会計	18	人材育成	28	労働安全衛生	39
ウッドワンのバリューチェーン	09	<b>E:環境</b> 再生可能エネルギー／バイオマス発電	19	<b>重要課題 5</b> コーポレート・ガバナンス	29		
主要な素材・商品	11	安全で快適な製品づくり	21	公正かつ健全な 事業活動の継続	30	<b>ガバナンス</b>	
<b>マテリアリティ</b>		長寿命製品の開発	23	<b>G:ガバナンス</b> リスクマネジメント	30	コーポレート・ガバナンス	41
マテリアリティ（重要課題）の特定	13	非住宅木造化の推進	24	コンプライアンス	30	リスクマネジメント	43
事業における ESG のマテリアリティ	14	<b>S:社会①</b>		<b>環境報告</b>		コンプライアンス	44
		<b>重要課題 3</b> 大工人数の減少をはじめとする社会課題への 取り組み	25	環境マネジメントシステム	31	<b>データ集</b>	
		省施工商品の開発	25	事業活動にともなう環境負荷低減のための取り組み	33	環境・社会・財務データ	45
		<b>S:社会②</b> 構造設計の見直しによる省施工への取り組み	26	有害物質・化学物質の管理	34		
				廃棄物削減への取り組み	35		
				事業活動と環境への影響	36		